

第 7 次神奈川県保健医療計画 進捗状況評価シート

第 2 章 疾病別の医療連携体制の構築  
第 3 節 心筋梗塞等の心血管疾患

評価(A~D)	要因分析・評価
C	新たに普及啓発や医療機関への補助を開始したところであり、現状や課題を分析した具体的な取組については、進捗がやや遅れている。

とりまとめ担当課：がん・疾病対策課

1 目標値／実績値の推移

目標項目	単位	計画策定時の初期値	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	達成目安	目標値(R5)	達成率	評価	目標の設定理由・考え方	数値の出典
特定健康診査・特定保健指導の実施率	特定健診%	49.7 (H27)	51.0 (H28)	52.5 (H29)	55.1 (R01)	52.4 (R2)	56.2 (R3)	未公表	66.6	70%以上	32	△	・医療費適正化計画と同値をめざす。 ・予防に関する施策の推進状況を評価するため。	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」
	特定保健指導%	12.2 (H27)	13.6 (H28)	14.4 (H29)	18.5 (R01)	18.0 (R2)	20.1 (R3)	未公表	39.5	45%以上	24.1	△		
心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数	件	135 (H27)	150 (H28)	144 (H29)	168 (H30)	178 (R1)	144 (R2)	155 (R3)		148	153.8	○	・県における除細動実施件数を増やし、プレホスピタルケアの更なる充実を図る。計画期間内に平成 27 年比 1.1 倍の増加をめざす。 ・発症直後の救護、搬送等に関する施策の効果を評価するため。	消防庁「救急救助の現況」
救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間	分	39.9 (H27)	39.6 (H28)	39.4 (H29)	39.4 (H30)	39.8 (R1)	41.7 (R2)	43.8 (R3)		39.4分以下	—	×	・全国値と同じ値をめざす。 ・発症直後の救護搬送等に関する施策の効果を評価するため。	消防庁「救急救助の現況」

来院後 90分以内の冠動脈再開通件数（人口 10 万人対）	件数	20.9 (H27)	22.1 (H28)	21.2 (H29)	23.5 (H30)	22.3 (R1)	20.3 (R2)	22.0 (R3)		23.0	52.4	△	・地域差を解消しながら、県平均の向上をめざす。 ・急性期の医療における施策の推進状況を評価するため。	NDB
心大血管リハビリテーション料（Ⅰ）届出施設数	施設	44 (H28.3.31)	46 (H29.3.31)	5 (H30.3.31)	52 (H31.3.31)	56 (R2.3.31)	56 (R3.3.31)	56 (R4.3.31)		57	92.3	△	・今後の患者数の増加に対応するため現状の 1.3 倍をめざす。 ・急性期後の医療における施策の推進状況を評価するため。	診療報酬施設基準
心大血管リハビリテーション料（Ⅱ）届出施設数	施設	6 (H28.3.31)	4 (H29.3.31)	3 (H30.3.31)	4 (H31.3.31)	4 (R2.3.31)	5 (R3.3.31)	5 (R4.3.31)		8	—	×		
在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合	%	96.2% (H26)			97.0% (H29)			96.6% (R2)		県平均 96.7% 以上	80	△	・地域差を解消しながら、県平均のさらなる向上をめざす。 ・医療の施策による効果を総合的に評価するため。	厚生労働省「患者調査」※調査は3年ごと
虚血性心疾患患者の年齢調整死亡率	%	男性： 27.3 女性： 8.7 (H27)						R5.12 月把握 予定		男性： 24.6 女性： 7.8	R5.12 月把握 予定	—	・最も低い佐賀県（男性 14.8、女性 5.5）の数値を長期的に目指し、1割改善する。 ・予防及び医療の施策による効果を総合的に評価するため。	厚生労働省「人口動態特殊報告」※H27が最新の値

※各年度の実績値について要記載。照会時点で未把握の場合、欄内に把握予定時期を記載（例：R5.12月把握予定）

※R5実績を把握している場合 ⇒ R5実績値を基に達成率を算出。達成目安は算出不要。